

白山林道の昆虫類

富樫 一次・鳥嶋 昭信

石川県農業短期大学

INSECTS OF HAKUSAN FOREST ROAD

Ichiji TOGASHI and Akinobu TORIBATAKE, *Ishikawa Agricultural College*

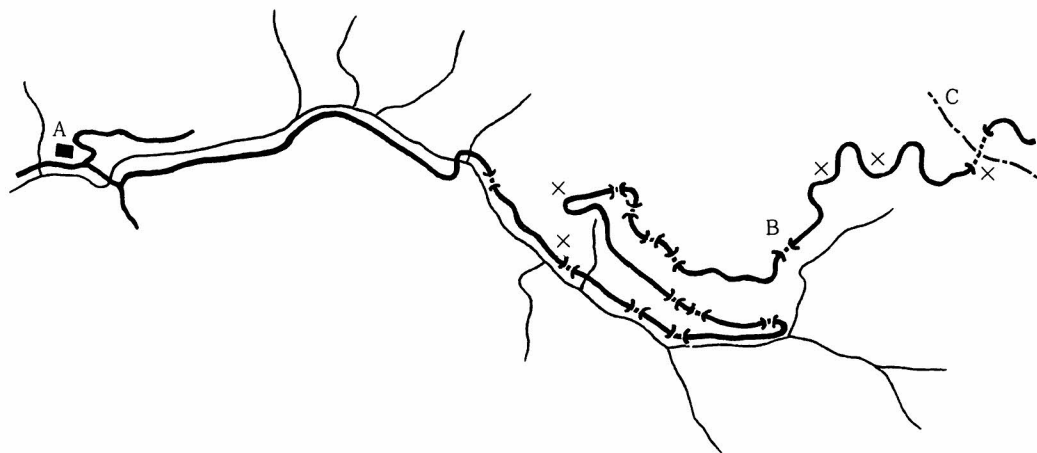
白山林道は、石川・岐阜両県の県境にひろがる森林資源の開発を目的に、石川県側は蛇谷川沿いに開設したものが、自然破壊の1つとして多くの論議を呼んだことは周知の事実である。

この林道の開設と自動車の通行が、そこに生活している生物、特に昆虫類に及ぼす影響を知る目的で、1977年の6月10日及び8月1日の2回、主として昆虫類の探がしどりによる基礎的な調査を行なったので、ここにその結果について報告したい。

調査地域の状況

白山林道がつけられた蛇谷は青年期の谷で、林道の入口より13号トンネル付近までの間は急峻な崖のため、殆んど調査不能であったが、13号トンネルより県境までの間には、幾分開けた小さな谷もあり、所々で調査を行なうことができた(第1図参照)。

調査地域には、ヒメコマツ、ヒノキ、ブナ、ミズナラのような高木、その下にオオカメノキ、ナナカマド、バッコヤナギ、ジャクナゲ等が見られ、下草としてバイケイソウやアキノキリンソウ、それにカライトソウ、シシウド、シモツケソウ、ヤマブキショウマにオオイタドリ等が生育していた。



第1図：白山林道略図(A：白山自然保護センター、B：13号トンネル、C：県境、×印：調査地点)

採集された昆虫目録

A Hemiptera 半翅目

1 *Elasmucha putoni* Scott ヒメツノカメムシ

シシウドの花に飛来していた。

2 *Orthobelus flavipes* Uhler ツノゼミ

3 *Aphis sanguisorbicola* Takahashi ワレモコウアブラムシ

13号トンネルから県境までの間の小さな谷の斜面に生育していたカライトソウに寄生していた。

4 *Uroleucon (Uromelan) amamianum* Takahashi アマミヒゲナガアブラムシ

県境近くの路傍に生育していたアキノキリンソウに寄生していた。

B Lepidoptera 鱗翅目

5 *Maculinea teleius kazamoto* Druce ゴマシジミ

採集されたものは僅か1頭にすぎないが、色彩は黒っぽい、翅裏面の斑紋は、群馬県や山梨県産の個体に似ている。

6 *Libythea celtis celtoides* Fruhstorfer テングチョウ

7 *Scoliopteryx libatrix* Linnaeus ハガタキリバ

13号トンネルと県境の間の小さな谷で、バッコヤナギの葉を食害していた幼虫を採集、飼育し羽化させたもので同定した。

8 *Diarsia brunnea* Denis et Schiffermüller ミヤマアカヤガ

県境付近でバイケイソウを食害していた幼虫を採集し飼育、羽化させたもので同定した。本種は本県よりはじめて記録されるものである。

9 *Arichanna melanaria fraterna* Butler キンタエダシャク

C Coleoptera 鞘翅目

10 *Aphodius haroldianus* Balthasar

11 *Aphodius igai* Nakane

12 *Serica nigrovariata* Lewis クロホンビロウドコガネ

13 *Podabrus lictorius* Lewis ミヤマクビホソジョウカイ

14 *Themus cyanipennis* Motschulsky アオジョウカイ

シシウドやヤマブキショウマの花に飛来していた。

15 *Eutriplax tuberculifrons* Lewis ヨツボシオオキノコムシ

広葉樹の1種の倒木に寄生していたヒラタケ?より採集された。

16 *Lagria nigricollis* Hope ハムダマシ

17 *Arthromacra viridissima* Lewis アオハムンダマシ

ヤマブキショウマの花に飛来していた。

18 *Pytho jezoensis* Kôno クロキカワムシ

ヒメコマツの倒木の樹皮下より幼虫が採集された。

本種の既知分布地域は、北海道及び本州となっており、本州では東北地方より日本アルプスまで分布しているという。この点より白山周辺が本種の分布上の西限域となっているように考えられる。

19 *Gaurotes doris* Bates カラカネハナカミキリ

シシウドの花に飛来していた。

- 20 *Pidonia miwai* Matsushita ミワヒメハナカミキリ
- 21 *Pidonia maculithorax* Pic カクムネヒメハナカミキリ
- 22 *Pidonia debilis* Kraatz チャイロヒメハナカミキリ
- 23 *Pseudalosterna misella* Bates チャボハナカミキリ

上記の4種は、いずれもヤマブキショウマの花に飛来していた。

- 24 *Japanostrangalia dentatipennis* Pic ヒゲジロハナカミキリ
- 25 *Parastrangalis nymphula* Bates ニンフハナカミキリ
- 26 *Judolia cometes* Bates マルガタハナカミキリ

上記の3種は、いずれもヤマブキショウマやシシウドの花に飛来していた。

- 27 *Leptura ochraceofasciata* Motschulsky ヨツスジハナカミキリ
- シシウドの花に飛来していた。

- 28 *Corennys sericata* Bates クビホソアカカミキリ
- 29 *Cryptocephalus approximatus* Baly バラルリツツハムシ

2号トンネルの手前にある親谷の湯への道で採集した。

- 30 *Cryptocephalus obliquostriatus* Motschulsky セスジツツハムシ

13号トンネルより県境までの間でシシウドの花上より採集された。

- 31 *Oomorhoides cupreatus* Baly ドウガネツヤハムシ
- 32 *Syneta adamsi* Baly カバノキハムシ
- 33 *Pyrrhalta esakii* Kimoto ブチヒゲウスバハムシ
- 34 *Fleutiauxia armata* Baly クワハムシ
- 35 *Apoderus praecellens* Sharp ムツモンオトシブミ
- 36 *Episomus turritus* Gyllenhal シロコブゾウムシ
- 37 *Baris dispilota* Solsky シロホシヒメゾウムシ

ヤマギキショウマの花に飛来していた。

- 38 *Polygraphus* sp.

ヒメコマツの倒木の樹皮下より採集されたが、種名は確認されなかった。

- 39 *Dryocoetes pini* Niiijima ハイマツアトマルキクイムシ

前種と同様、ヒメコマツの倒木の樹皮下より採集されたが、本県からははじめての記録であろう。

また、これまでヒメコマツを加害するという記録もないらしく、ここに新しい加害樹としてヒメコマツを記録しておく。

D Diptera 双翅目

- 40 *Tabanus iyoensis* Shiraki イヨシロオビアブ
 - 41 *Dioctria nakanensis* Matsumura ハラボソムシヒキ
 - 42 *Empis* sp. オドリバエの1種
 - 43 *Eristalomyia tenax* Linnaeus ハナアブ
- ヤマブキショウマやシシウドの花に飛来していた。
- 44 *Episyrphus balteata* De Geer ホソヒラタアブ
 - 45 *Metasyrphus nitens* Zetterstedt ナミホシヒラタアブ
 - 46 *Sphaerophoria menthastri* Linnaeus マメヒラタアブ

ヤマブキショウマの花に飛来していた。

47 *Melanostoma scalare* Fabricius ホシツヤヒラタアブ

48 *Ishirosyrphus glaucius* Linnaeus オオヨコモヒラタアブ
シシウドの花に飛来していた。

49 *Stomorphina obsoleta* Wiedemann ツマグロキンバエ

ヤマブキショウマの花に飛来していた。

50 *Satophaga stercoraria* Linnaeus ヒメフンバエ

E Hymenoptera 膜翅目

51 *Tenthredo japonica* Mocsáry アオコシホソハバチ

52 *Tenthredo finschi seguro* Takeuchi

上記の2種は、ヤマブキショウマやシシウドの花に飛来していたが、シシウドの花への飛来数は多かった。その割合はヤマブキショウマ1に対しシシウド3及至4であった。

53 *Tenthredo viridatrix* Malaise トゲムネアオハバチ

54 *Pristiphora* sp.

ナナカマドの1種の葉を食害していた幼虫を採集。現在飼育中である。

55 *Charops* sp.

ナナカマドの1種の枝にぶらさがっていた繭を採集したが、これも飼育中である。

56 *Vespula rufa* Linnaeus ツヤクロスズメバチ

57 *Psen hakusanus* Tsuneki ハクサンブセン

58 *Hylaeus monticola* Bridwell ヤマテハラツヤハナバチ

シシウドの花に飛来していた。

59 *Andrena* sp.

ヤマブキショウマの花に飛来していた。

60 *Lasioglossum* sp.

ヤマブキショウマやシシウドの花に飛来していたが、大凡5:4の割合でシシウドの花への飛来が多かった。

61 *Bombus ardens* Smith コマルハナバチ

シモツケソウの花に飛来していた。

ま と め

僅か2回の調査であるため、林道の昆虫相全般について明らかにすることはできなかったが、採集された昆虫の中には、倒木寄生やキノコを食するものも含まれており、これらの昆虫が、環境の変化にどのように対応していくか、またアブラムシ相の変化についても継続して調査を進めていきたい。

謝 辞

本文を終るにあたり、が類の同定をして頂いた服部伊楚子技官、キカワムシの同定をして頂いた林長閑博士、キクイムシ類の同定をして頂いた野淵輝博士、コガネムシ類の同定をして頂いた野村鎮氏、アブラムシ類の同定をして頂いた宗林正人教授ならびに種々御教示を頂いた高羽正治氏に感謝の意を表する。

文 献

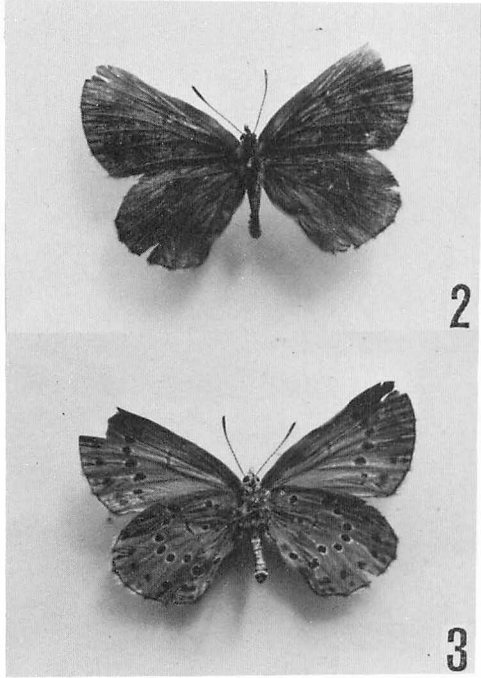
Hayashi, N. (1969) on the larvae of some species of small families of Cucujoidea in Japan. *Ins. Mats.*, Supplement 7: 1-9.

野淵輝 (1966) マツ類を加害するキクイムシについて. 林業試験場研究報告 第185号: 1~49.

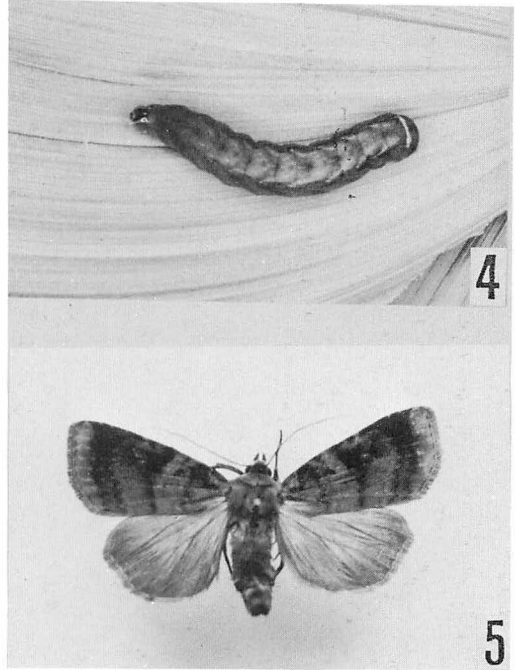
Summary

Sixty-one species of insects were captured at Hakusan Forest Road. Among them, the following 9 species are new to the fauna of Hakusan district.

1. *Aphis sanguisorbicola* Takahashi
2. *Uroleucon amamianum* Takahashi
3. *Scoliopteryx libatrix* Linnaeus
4. *Diarsia brunnea* Denis et Schiffermüller
5. *Aphodius haroldianus* Balthasar
6. *Aphodius igai* Nakane
7. *Pytho jezoensis* Kôno
8. *Dryocoetes pini* Niijima
9. *Vespula rufa* Linnaeus



第2・3図：ゴマツジミ（2：表面，3：裏面）



第4・5図：ミヤマアカヤガ（4：幼虫，5：成虫）



第6図：*Pristiphora* sp. 幼虫の加害状況